

サンケイスポーツ

平成30年(2018) 昭和30年3月17日 第3種郵便物認可
日刊 第22603号
5/21 月曜日 仏滅 12版

http://www.sanspo.com/

東京みなと祭行事

第14回DBF世界ドラゴンボート選手権予選会

Supported by **リポビタンD**

(20日、東京・お台場海浜公園特設250mコース)

オープン bpb3連覇

世界選手権選考会

第23回大会が来年の第14回世界選手権(タイ)の選考会を兼ねて行われ、オープンではbpbが3連覇を果たし代表選考ポイント5点を獲得した。混合は東京龍舟、スモールではTEAM AM×GREENSが優勝。2回のレースでの合計タイムで争ったシニアは東京龍舟マスターズ、女子は東京龍舟プラチナが制した。

2位に4秒以上

快晴のお台場で圧倒的な強さを発揮して、bpbが3連覇だ。赤塚圭佑主将(21)が笑った。
「今季の初戦だったの、勝てていいスタートを切ることができた」
強靱(きょうじん)な肉体の漕手たちがスタートで飛び出し、250mを漕いだ。決勝は2位に4秒以上の差をつけた。昨年の日本国際選手権(大阪・大川)で好敵手・磯風漕友会に敗れ、意識が変わった。若手が積極的に練習に参加するようになり、チームは「日本一奪還」を目標に掲げた。大舞台をイメージして週4回、汗を流した。

「ここはまだ通過点。7月(日本国際選手権)に優勝できるように」。bpbが王座奪回に向けて上昇気流に乗った。
(石井文敏)



オープンの部で優勝し、喜ぶbpbのメンバーたち

大正製薬
「リポビタンD」
1300本配布
◆特別協賛する大正製薬は日本初のドリンク剤として誕生した「リポ

主催 一般社団法人東京ドラゴンボート協会
共催 東京みなと祭協議会、東京地区海の安全運動推進連絡協議会
後援 東京都、サンケイスポーツ、産経新聞社、東京臨海副都心まちづくり協議会、港区スポーツふれあい文化健康財団
主管 一般社団法人日本ドラゴンボート協会、一般社団法人東京都ドラゴンボート協会
特別協賛 大正製薬
協賛 東亜建設工業、協力 バイタリテイ、天然温泉平和島、泥亀、神指一門、DECKS東京ビーチ、B&G財団、チキンカントリー、東京夢の島マリーナ、東京ウォーターフロント協議会

【決勝成績】

▼オープン ①bpb 59秒000 ②チーム河 1分3秒470 ③サーフだったバイザース 1分3秒850
▼混合 ①東京龍舟 1分2秒840 ②INO-G 1分3秒340 ③関西龍舟シンバ 1分4秒470
▼スモール ①TEAM AM×GREENS 1分24秒720 ②やる気!元氣!バイタリテイ!!! 1分29秒940 ③Pirates of Rakutenian 1分30秒250

※シニアと女子は1、2回戦の合計タイム
▼特別 ①IHI 1分10秒090 ②鹿島建設 1分14秒190 ③大正製薬 1分14秒750 ④東亜建設工業 1分20秒470 ⑤墨田川造船 1分26秒620 ⑥ジェインズ・ドリーム 2分0秒260

東京龍舟が優勝

混合は東京龍舟が3連覇を目指したINO-Gを僅差で破った。オフは三日を除く年末年始を練習日に設定するな

ど、拠点の東京・江戸川区で練習。自然と息の合った動きがとれるようになった。日本国際選手権に向けて吉田太郎主将(32)は「弾みがついた」とうなずいた。

「リポビタンD」を約1300本、無料配布。肉体疲労時の栄養補給として親しまれており、ゴール後の参加者はプレゼントされると「ファイト一発!」と喜んでた。

◆一般社団法人東京都ドラゴンボート協会・朝日健太郎会長 「時代に合ったスポーツのあり方を表現できた。国際大会につながっていくように盛り上げたい」

